

平成23年度教職大学院派遣研修研究報告書

研修生番号	管23K08	氏名	田島 由紀子
研究主題	東京都の知的障害特別支援学校高等部職業学科におけるキャリア教育		
所属校	都立南大沢学園特別支援学校	派遣先	帝京大学教職大学院

項目	内容
I 研究の目的	キャリア教育の意義、目的をとらえ、全国の職業学科におけるキャリア教育についての取組や東京都の職業学科におけるキャリア教育について現在までの取組と課題についての検証と、キャリア教育の視点を取り入れた授業改善の研究を通して、東京都知的障害特別支援学校職業学科におけるキャリア教育の在り方について考察する。
II 研究の方法	<p>(1) 知的障害特別支援学校職業学科で育成すべき社会的・職業的自立や社会・職業への円滑な移行に必要な力の検証</p> <p>(2) 全国の職業学科におけるキャリア教育についての取組の検証</p> <p>(3) 東京都の職業学科におけるキャリア教育について現在までの取組と課題の考察</p> <p>(4) キャリア教育の視点を取り入れた授業改善の研究</p>
III 研究の結果	<p>(1) 知的障害特別支援学校職業学科で育成すべき社会的・職業的自立や社会・職業への円滑な移行に必要な力の検証</p> <p>キャリア発達に関連する諸能力として、「基礎的・基本的知識・技能等」「基礎的・汎用的能力」の二つについて、それぞれの内容を以下のように整理した。</p> <p>◆基礎的・基本的知識・技能等</p> <p>○職務遂行に必要な生活能力 ○生活や職務遂行に必要な社会的知識 ○生活や職務遂行に必要な文書知識 ○生活や職務遂行に必要な数学的思考方法や知識 ○職業生活に必要な知識・技能</p> <p>○社会生活に必要な知識</p> <p>◆基礎的・汎用的能力</p> <p>・人間関係形成・社会形成能力</p> <p>○コミュニケーション能力 ○コミュニケーション・スキル ○協調性・チームワーク・リーダーシップ ○基本的なマナー ○公共心・規範意識・市民としての社会的責任・自己理解・自己管理能力</p> <p>○自己理解 ○忍耐力 ○責任感 ○ストレスコントロール力 ○基礎学力や知識・ノウハウをもち、継続的に高めていく力</p> <p>・課題対応能力</p> <p>○主体性 ○計画実行能力 ○課題解決能力</p> <p>・キャリアプランニング能力</p> <p>○役割把握・認識能力 ○情報収集・探索能力 ○職業理解能力 ○選択能力 ○自分らしい生き方や成功を追求する能力</p> <p>(2) 全国の職業学科におけるキャリア教育についての取組の検証</p> <p>全国の職業学科設置校へのアンケート調査から、キャリア教育についての取組と課題を検証した。</p> <p>調査結果から、全国の職業学科の実態は様々であり、各学校において、社会的・職業的自立を目指し、生徒の実態と付けたい力を考慮しながら教育課程を編成していることが分かった。</p> <p>各校の「キャリア教育の取組状況」調査においては、現在、最も多く取り組まれているものは「教員の「校内研修」であり、次いで「進路指導計画の見直し」「各教科等の指導内容の見直し」があげられた。この結果から、まだキャリア教育について一人一人の教員の理解、教員間での共通理解が十分とはいえない状況がうかがえる。今日、キャリア教育の推進が求められているが、現状としては多くの学校においてまず第一歩である教員の理解の段階にあるということが明らかになった。</p> <p>(3) 東京都の職業学科におけるキャリア教育について現在までの取組と課題の考察</p> <p>①東京都における職業学科の変遷(都立A特別支援学校高等部職業学科から都立B学園まで)</p> <p>開校当初からの教育課程を辿ることで、都立A特別支援学校職業学科はもの作りを中心とした職業教育を出発点としており、そこから徐々に、就労先で求められている実践的な職業教育へと転換を図ってきたことが分かった。また、平成22年度開校の都立B学園では、生徒の自己選択、自己決定を重視したキャリア教育の視点を取り入</p>

	<p>れた職業教育の展開を図っていることがわかった。</p> <p>②アンケート調査に見る東京都のキャリア教育推進上における課題 知的障害特別支援学校職業学科で育成すべき社会的・職業的自立や社会・職業への円滑な移行に必要な力の検証において作成したキャリア発達に関連する諸能力の表を用いて、職業学科設置校2校の教員に対して、アンケート調査を行った。 調査結果において、「基礎的・汎用的能力」より「基礎的・基本的知識・技能等」の項目について扱うのが難しい、扱っていないという回答が多く見られた。これらの内容は、従来、特別支援教育やその進路指導において、重点的に取り扱われてきたものである。職業学科におけるキャリア教育を進める上で、これまでの特別支援学校において行われていた教育活動を見直すことも重要であると分かった。</p> <p>(4) キャリア教育の視点を取り入れた授業改善の研究 都立A特別支援学校職業学科の職業科における授業計画作成から、キャリア教育の視点を取り入れた授業改善について考察した。 授業において主として育成を図るのは、課題解決能力とした。しかし、指導案を検討するうちに、育成を図ることができるのは課題解決能力にとどまらず、コミュニケーションスキルや、ストレスコントロール力、選択能力等も育めると気付いた。「基礎的・汎用的能力」については、それぞれの能力は相互に関係し合い、1つの活動によって複数の能力の伸長を図ることが可能であると考えた。 よって、キャリア教育を各教科等の指導で実践するときには、相互に影響し合う能力についても考慮しながら、指導計画を立てることが必要であると分かった。</p>
<p>IV 考察</p>	<p>研究結果を踏まえ、東京都の職業学科におけるキャリア教育の在り方について以下のように考える。</p> <p>①今までの職業教育等行ってきた教育活動を、キャリア教育の視点で見直し、さらなる充実・発展を図る。</p> <p>②各教科等の指導において、指導内容を明らかにし、キャリア発達に関わる諸能力の育成を系統的に行う。</p> <p>③教員一人一人のキャリア教育に対する理解を深めるとともに、教員相互の共通理解を図り、組織的にキャリア教育を推進する。</p> <p>知的特別支援学校においては、これまでも「自立と社会参加」という目標のもと、生徒の主体性を育て、積極的に社会に関わり、社会自立、職業自立を目指す教育を行ってきた。高等部においては、職業自立を目指す職業教育が多く取り組まれ、さらなる職業教育充実のため、職業学科が設置されてきた経緯がある。</p> <p>職業教育の定義は「一定又は特定の職業に従事するために必要な知識・技能・能力や態度を育てる教育」とされている。しかし、特別支援教育においては、職業教育は特定の職業に従事するための教育にとどまらず、職業生活や社会生活全般に必要な知識・技能、能力、態度等を育てる教育を行ってきており、その点においては、キャリア教育の理念に近いものといえる。キャリア教育は、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」である。つまり、キャリア教育とは、職業教育を包括した、人としての在り方、生き方に基づく教育であるといえる。</p> <p>今後の東京都の職業学科においては、キャリア教育を教育活動に位置付けることにより、これまでの「自立と社会参加」に向けた職業教育を新たに発展・充実させることができると考える。</p>